

社会保障委員会 NEWS

発行：社保委員会事務局

■仮設健康相談会（4回目）多賀城・高橋仮設住宅（38戸）今田院長・富山診療部長参加

仮設住宅での健康相談会、第4回目は28日に多賀城でもっとも小さい高橋仮設の談話室で開催しました。医師は今田院長と富山診療部長、看護師は3階・10階から参加。医学生1名も参加しました。

仮設住宅が38戸と小さいため、参加数が少ないのでは、と心配しましたが、いつもの通り開始時間前から入居者の方が来場。医師、看護師の来場後は、次々と入居者の方が来られて、最終的には10名の方がお出でになりました。会場は15畳一室と小さいため、談話室での診察チームと訪問チームに分かれて行ないました。



<今田院長、膝の屈伸体操を実演しながらの指導も>

来場者10名中8名が通院中、これまでの仮設に比べて通院中の方が多く状況でした。最高血圧150以上の方も2名で通院服薬中でした。但し、5名の方が「寝付きが悪い」「夜間によく目が覚める」「眠れないので昼間横になっている」などの訴えがあり、中には「津波の夢をみて、ぐっすり眠れない」と訴える方も。今田院長は、じっくりお話を伺い、時には膝・腰によい屈伸体操も実演指導しました。



■富山診療部長・看護師で、市保健婦さんと気になるお宅に同行訪問。

奈良市から多賀城に支援にきている保健婦さんが会場に来られて、気になるお宅への同行訪問依頼があり、保健婦さんの案内で富山診療部長と参加した3階・10階の看護師さんで訪問しました。3軒のお宅で面談しました。

<気になる方>

- ・70代女性：以前高血圧で坂病院に搬送され、当院高血圧かかりつけであったが、現在中断中の方。ストレスの訴えあり。受診再開を促す。

- ・70代夫婦：夫は要介護。ご夫婦とも認知に障害がある様子。「知り合いがいなくて、話し相手がいない」と。今後のフォロー必要。

<参加スタッフの感想>

- ・市の保健婦さんと回るという行政との連携を初めて体験しました。訪問して話しているうちに悩みが出てくる方もおり、仮設訪問の継続が必要だと思いました。（看護師）
- ・気になる方を訪問しました。体調がすぐれず過ごしている状況で、ストレスも改善されていないと思いました。一人一人抱えている悩みが違うので、じっくり話を聞いて介入することが必要と感じた。（看護師）

<「俺の主治医が来たから」と入居者の方からアイスの差し入れも>

相談会途中で車イスの男性が来場し、「俺の主治医の富山先生が来ているようだから、やってけろ」とアイスの差し入れを持参されました。高橋仮設には、リハ科通院中の方もおり、思わぬ対面となりました。

<今後の仮設健康相談会の日程～毎週木曜日学習時間>

8/4塩釜・伊保石仮設 8/11多賀城・山王仮設 8/18多賀城・城南仮設 8/20(土)七ヶ浜・学習センター仮設 8/25多賀城・多賀城公園仮設